

## 植物科学科3年「出雲流庭園」を体感する！

7月5日(金)「グリーンライフ」選択生22名が、出雲文化伝承館に出かけ校外学習を行いました。吉田美智子 館長さんと藤原 隆 副館長さんから「出雲流庭園の歴史と茶の湯文化」についてご説明をいただき、庭園文化と造形の魅力について理解を深めました。



- ・お抹茶は、久しぶりで、苦いかな、思ったけど、とても飲みやすく美味しかったです。家の作りと木材を教えてくださいました。杉、ひのき、山桜、栗の木 昔の人は知恵のかたまりだなと思いました。H,A
- ・出雲文化伝承館の庭は、話に聞いていたとおり、とてもきれいな庭でした。特に、黒松が立派だと思いました。手入れが、念入りにされているようで、貫禄があって素敵でした。普段と違った体験で楽しかったです。Y,K
- ・お茶席が良かったです。正座がちょっと、つらかったです。久々で、しびれました。K,T
- ・土間、玄関の部屋、そして、次が前回お話された出雲流庭園の見える部屋でした。そこで、詳しくお話を聞くことができました。庭のある部屋の柱がなぜ、2本なのか、お客様への配慮であることを知り、とても細やかなところまで気を配っているんだなと思いました。R,T



- ・神様は、1柱、2柱・・・数えること、初めて知りました。大黒柱には、神様が宿ると聞きましたので、家の大黒柱を拝みたいです。R, O
- ・ここは、500坪の敷地面積があるそうです。庭も広く驚きました。松の木の形や大きさ、根の張り具合を見ることを教えていただきました。形がすごく、きれいでした。今回は実際に見ながら、話を聞くことができ、本当に良かったです。S, K
- ・庭園が、とてもきれいで素敵でした。畳の部屋だと、風通しがよく眠くなりました。抹茶は、濃い緑茶の苦みで、奥深い味でした。和菓子の涼しげな夏に向けた味とよく合っていました。K, Y
- ・ガラスの表面は、ぐにゃぐにゃ ゆがみがある。中に、空気が入っていれば、今なら不良品だが、この時代なら当たり前・・・H, F
- ・今日の出雲流庭園の学習で感じたことは、出雲には素晴らしいものがあると思ったことです。K, T
- ・枯山水の庭を初めて見ました。きれいだし石もすごく大きく、昔の人は、これをよく運んだなと思いました。お茶の作法も教えていただき、お菓子もお茶も美味しかったです。M, S
- ・初めて出雲伝承館に行きました。出雲流庭園が古風で落ち着きました。沢山の工夫がされていました。出雲の伝統と文化を学べて良かったです。H, S
- ・コイや亀の甲らの門。玄関入ると大き過ぎる感じで、本当の玄関はそこじゃないと聞き変な感じがしました。庭は広くて、とってもステキでした。K, M
- ・実際に、庭や松を見ると、とてもきれいでした。だから、庭や地域資源を守るように、自分にできることをしていきたいと思いました。お抹茶は、久しぶりに戴きました。やっぱり、おいしいなと思いました。T, I



- ・今回、初めて出雲文化伝承館に行きました。昔のガラスの表面は、水面に映る風景みたいできれいでした。黒松の細かい枝がきれいで、魅力的でした。S,I
- ・初めての出雲流庭園は、とても美しいと思いました。客間の壁は、和紙がはってある。居間の障子紙は、一枚紙にせず、小さい紙を2mm重ねて貼ってある。いろいろな工夫や作業が有って保たれていることも感じました。R,A
- ・私は、初めて出雲文化伝承館に行きました。入り口の門は、江戸時代からあるままの造り。出雲流庭園は、とてもきれい。畳の部屋は、涼しげで造りに工夫がいろいろされていて、驚く場面がたくさんありました。M,Y
- ・初めて出雲流庭園を見ました。とても考えて作り出されており、心が落ち着きました。R,K
- ・庭は、お客をたのしませるためのもの。出雲流庭園では、黒松を一番大切にする。見る時は、まず根から。どのように生えているか。そして、樹肌はどうか。庭師の方は、春の手入れに黒松だけで3日はかかるとお聞きした。S,K
- ・実際に、出雲流庭園を見ると、想像以上で驚きました。500坪、見て楽しめる庭。雪が積もった時のため、少し高くした踏み分け石。いろいろと知ることができ驚きました。お抹茶と和菓子も良かったです。M,U
- ・黒松の手入れが、3日もかかると聞いてビックリしました。また、お茶の作法を学ぶことができたので良かったです。M,U



今回の学習を踏まえて、引き続き地域資源の魅力的な活用と地域課題の解決につなげて考えてまいります。